広島安佐ロータリークラブ
MONTHLY REPORT

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

＜本年度会長テーマ＞　『 ニューノーマル時代での奉仕 』

例会日／毎週木曜日　　例会場／リーガロイヤルホテル広島
会　長／道垣内　文夫　　幹　事／山口　洋充

Vol.601

2021年11月11日(木)　第1013回
訪問例会
広島市こども療育センター山彦園

会長時間

本日は広島療育センター山彦園での例会となります。コロナ感染状況も一旦落ち着いており無事企画通りに訪問できたことを嬉しく思います。また11月は財団月間でもあり地区補助金を活用して子供たちに運動器具を直接贈ることが出来ます。今日は生まれながらに障がいを持つ園児たちの元気な笑顔をたくさん見ましょう。きっと、子どもたちの笑顔から素晴らしい刺激を多く戴くはずです。このような社会奉仕は一個人ではなかなか出来ませんが、ロータリークラブを通じてなら多くの人を笑顔にさせることが可能です。しかも毎年です。他クラブと比べると奉仕活動の規模が小さくマスコミ、行政機関との連携もほとんどございませんが、私たちの行動は確実に社会に役立っています。これからも活動を止めることなくクラブライフをエンジョイしていきましょう。以上で会長時間とさせていただきます。

寄贈式

目録授与

柳井園長よる松井市長からのお礼状の代読
隣で手話をして下さっています。

安佐RC会員、園児、保護者、職員の方々出席のもと、式を行いました。

園児たちとの交流と園内見学

11月11日、「・・・の日」という冠名が一番多い日だとか、わがクラブの第1013回例会は、広島市こども療育施設「山彦園」への寄付贈呈式を兼ねた施設見学例会でした。

こちらの施設には、園側のニーズを伺いながら財団の地区補助金を利用し継続して寄付を行っており、今年で2年目になります。

道垣内会長は、「聴覚に少し障がいのあるこどもさんたちが元気に動き回っている姿に接し、私たちもパワーを貰って帰りたいものです」と挨拶。

それに対し柳井園長さんからは、「今回寄贈された平均台と滑り台は、備品としては高額なもので（限られた市の福祉予算では）なかなか更新が難しく、既存のものは30年モノで、ささくれた木地表面に職員がヤスリ掛けをしたりして何とか使いまわしてきました。これで子どもたちも足裏の怪我を気にせず、思う存分遊ばせてもらえます」と謝辞をいただきました。

子どもたちがしっかり身体を動かすことは、子どもどうしのコミュニケーションの広がりにも効果があるそうです。

贈呈式の後には、さっそく多目的ホールに多くの遊具が並べられ、今日は2歳児の集団療育の日だったそうですが、子どもさん、保護者、そしてクラブ会員の交歓会の始まりです。

会員も、縄跳びの縄をゆすって飛越用の川をこしらえたり、ワ二さん叩きのお手伝いをしたりして歓声の輪の中に加わりました。

一番交歓の実をあげておられたのは、松岡会員ではなかったかとお見受けしております。

限られた時間でしたが、普段の例会場とは趣の異なる有意義なひと時となりました。

会員はそれぞれ、また来年もロータリー財団月間にちなみ、備品の一つでも寄贈を行うことが出来れば、と小さな約束を胸に抱きながら園を後にしたことです。

（会報・広報　　青木 幹丸）

11月11日（木）　第 1013　回

本日のプログラム
「訪問例会」
広島市こども療育センター山彦園

幹事報告

1．お知らせ

・次週18日の例会は、通常例会です。出欠を取っておりませんので、次週の月曜日までに欠席の方・Zoomでの出席の方は事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします

出席報告　第1011回　10月21日

会員数　20名　　出　席　率　89.47%

出　席	15名	ご　来　賓	0名
欠　席	5名	ご　来　客	0名
メーキャップ	2名	ゲ　ス　ト	0名

2021年11月18日(木)　第1014回例会
3階　「安芸の間」

会長時間

先週の山彦園訪問例会、お疲れ様でした。今回は11名の出席者でした。地区補助金を活用し生まれながらに難聴という障がいを持った園児さんらが、思いきり楽しみながら体力向上が図れる運動器具を寄贈することが出来ました。少しの時間だけれども一緒に遊び我々も良い活動をしたな、という充実感を得ることが出来たのではないでしょうか。小さなクラブで事業規模も制約された状況の中、毎年このような社会奉仕が出来る環境であることの素晴らしさと満足感を得ていると同時にロータリアンでないと出会えないし、地域に奉仕が出来ないものだと再考した次第です。後日聞き受けた話ですが園児たちから今年も安佐ロータリークラブの人が来てくれたね、と言ってくれたようです。

もともと広島市の運営施設ではありますが購入する際は10万以上の物品は依頼してもなかなか承認されないようで古いものを丁寧にメンテナンスしながら運動器具を維持されておられるようで。また、親御さんからの不要になった玩具の寄付で凌がれているようです。地区補助金制度を利用しての山彦園には来年度が最後になりますがクラブでは安価な絵本や文具等を継続して贈り続けたいと感じた一日であったとお伝えして会長時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

会員時間：浮田　収会員

～近況報告～
福山市箕島町に、11月1日に「むさし福山箕島店」をオープン！

羅　書坤くん(米山奨学生)　11月分奨学金授与

「来賓卓話」
～主体的に学び続ける「Learning Community」を目指して～
広島県立叡智学園中学校・高等学校
校長　福嶋　一彦　様

本日は，広島叡智学園中学校・高等学校についてご紹介させていただく場をいただき，ありがとうございます。

本校は，平成31年４月，大崎上島町に開校した全寮制の併設型中高一貫教育校です。現在

は，中学校３学年の約120人が寮生活をしながら，探究的な学習に取り組んでいます。来年の４月からは，高等学校が開校し，海外留学生及び海外で一定期間の教育を受けた経験のある帰国生が20人ずつ入学してくる予定となっており，本校の中学校から進学する40人とあわせて１学年60人でスタートすることとなっています。中学校１年生から高等学校３年生までの６学年が揃う令和６年度には，中学生120人と高校生180人の計300人が，本校において学習活動や生活をしていく予定です。

本校は，「グローバルな視野」と自然豊かな大崎上島町の「地域に根ざした心」の双方を大切にしながら，高等学校段階から迎える留学生等とともに学年や文化の壁を越えて支え合い，共に学び，そして共に生活しながら，主体的に学び続けることのできるLearning Communityを創り上げていきたいと考えています。

本校の特徴の１つとして，IBの教育プログラムを主なツールとした探究的な学びを推進しています。現在，IBのプログラムの１つであるMYPの認定校としてその取組を実践しています。また，MYP終了後に高校１年生１月から実施予定のDPに向け，現在，DP段階でのカリキュラムの準備及び進路指導体制の整備等に取り組んでいます。

もう１つの特徴は，生徒の心と体の成長を土台から支えている寮生活です。生徒たちは，中学校入学から全員寮で共同生活を送ることにより，心身ともに成長していると実感しています。時に友達とぶつかりながらも，悩んだり，考えたり，振り返ったりしながら，IBの学習者として求められているバランスのとれた思いやりのある人へと成長してきていると感じています。来年度からは，海外留学生等を迎え，寮での異学年・異文化の生活を通して，さらに多様な価値観や文化背景の中で，互いに高め合いながら成長することができる環境を作ることを目指しています。

このように本校は，学習を支えるIBを用いた探究的なカリキュラムと，生活を支える異学年・異文化の寮生活の両輪で，将来世界中のどこにおいても，地域や世界のよりよい未来を創造できるリーダーとなる生徒の育成を目指しています。

今後も，本校の取組と成長していく生徒たちの姿を温かく見守っていただきますよう，よろしくお願いいたします。

11月18日（木）　第 1014　回

本日のプログラム
「来賓卓話」
～主体的に学び続ける
「Learning Community」を目指して～
広島県立叡智学園中学校・高等学校
校長　福嶋　一彦　様

幹事報告

１.BOX配布物
・ガバナー月信、とロータリーの友
・ロータリーカレンダー
・12月の例会プログラム
・年次総会のご案内
　と　き：2021年12月2日（木）
・IMのご案内（メークアップ対象）
　と　き：2022年2月27日（日）会議14：00～17：00
　　懇親会17：15～18：30
　ところ：ANAクラウンプラザホテル広島3階
・休会のご案内（12月9日・30日）
２.例会変更
・広島西RC・広島廿日市RC・広島西南RC
「広島西RC・広島西南RC・広島廿日市RC
　合同ガバナー公式訪問」
　と　き：11月25日（木）
　※11月22日（月）の例会変更（広島廿日市RC）
　　11月30日(火)（広島西南RC）
　ところ：ＡＮＡクラウンプラザホテル
・広島中央RC　「創立43周年記念例会」
　と　き：11月29日（月）18：30～※同日変更
　ところ：リーガロイヤルホテル広島

3．休会
・11月22日(月)広島東南RC・広島中央RC
4．お知らせ
・11/28（日）のロータリー奉仕デー「太田川河川敷清掃活動」に参加される方は、受付が9：30からとなっております。空鞘橋東詰、北側（中央公園側）にお集まり下さい。白いクラブジャンパーを着用下さい。お忘れのないよう、よろしくお願いいたします。
・北上和賀RCから10月分の会報が届いております。回覧いたしますので、是非ご覧下さい。

ニコニコ箱

¥29,420　累計¥482,420

会員記念日（11月）

☆誕生日おめでとうございます
・奥芝　　隆会員(S22.11.04)
・坂井　信教会員(S47.11.11)

☆結婚記念日おめでとうございます
・岡本　忠文会員(S58.11.03)
・岡田　哲也会員(H25.11.04)
今年の結婚記念日に入院いたしました。一生忘れることのない記念日になりました。これからも今回の件を結婚記念日の度に笑っていつまでも話せる良い関係でいたいです。

☆パートナー誕生日おめでとうございます
・坂井　信教会員(25日：美香様)

☆入会月おめでとうございます
・黒田　七郎会員（R01.11.14）

☆道垣内　文夫会員
お客様、ようこそお越し下さいました。
ごゆっくりお過ごしください。広島県立広島叡智学園、福嶋校長先生、後ほどの卓話楽しみにしております。よろしくお願いいたします。黒田会員、無事退院おめでとうございます。

☆中村　富子会員
11月6日に、亡き義父の四十九日の法要を行いました。葬儀の際は、立派なお花を頂き、ありがとうございました。

☆浮田　収会員
参加率が少し低迷してる浮田です。カープ観戦のの際は、ご用命ありがとうございました。

出席報告　第1012回　10月28日

会員数　20名　　出　席　率　78.95%

出　席	14名	ご　来　賓	0名
欠　席	6名	ご　来　客	0名
メーキャップ	1名	ゲ　ス　ト	0名

崇徳学園ＩＡＣ募金

11月分
松岡　與吉･奥芝　隆・岡本　忠文･谷　勝美

合計　4,000円
総合計　39,000円

広島安佐ロータリークラブ
2021年10月個人別出席一覧

☆例会数：4回
☆クラブ出席率：84.21%
☆メーキャップ対象の会合：　10/7（木）10月分定例理事会
10/17（日）地区大会(リモート参加)

No	氏　名	7	14	21	28	%
1	青木　幹丸	○	◎	○	○	100
2	道垣内　文夫	◎	◎	○	○	100
3	八條　範彦	×	×	×	○	25
4	黒田　七郎	▲	▲	▲	▲	0
5	森本　真治	○	×	○	×	50
6	松岡　與吉	○	◎	○	○	100
7	三宅　恭次	○	◎	○	○	100
8	中村　富子	○	○	○	○	100
9	野村　裕芳	△	○	△	△	100
10	奥芝　隆	◎	○	○	○	100
11	大北　茂人	○	○	○	×	75
12	岡本　忠文	○	△	◎	○	100
13	清家　俊一	○	×	×	×	25
14	坂井　信教	○	○	○	○	100
15	谷　勝美	○	△	△	○	100
16	浮田　収	×	△	○	×	50
17	山口　洋充	◎	◎	○	○	100
18	横手　裕康	○	◎	○	○	100
19	山岡　稔	◎	○	○	○	100
20	岡田　哲也	○	×	○	○	75

◎：ダブル出席者　○：ホーム出席者　△：メーキャップ　×：欠席　▲：出席免除者

ロータリー奉仕デー
太田川河川敷清掃活動

11月28日（日）　10：00～11：30
本川河川敷にて
主催：広島北RC
共催：広島陵北RC・広島安佐RC

１１月２８日（日）は朝から雲一つない快晴！まさにロータリーにとって「ハレの日」となりました。
広島北ＲＣ・広島陵北ＲＣ・広島安佐ＲＣと親、子、孫が合同で、全世界で展開される「ロータリー奉仕デー」に参画、浄土真宗本願寺派広島別院傍を流れる本川（旧太田川）の両岸で清掃活動を行いました。
参加者は3ロータリーの会員のほか家族、それにイベントに賛同して参加した企業の社員に特別ゲストとして広島ドラゴンフライズの朝山正悟選手、元サンフレッチェ広島の森崎和幸さんなど、約２７０名。広島安佐からは道垣内会長、山口幹事等8名と、崇徳高校IACの鴨谷顧問と生徒5名、そして米山奨学生の羅くんが参加いたしました。
この活動には米山学友会も参加しておりました。安佐RCが世話クラブだったベトナム出身のタン君が私を見つけ「三宅さん、お久しぶりです」と声を掛けてくれました。
彼は大学卒業後ヒロテックに就職して頑張っています。「会社には慣れた？」「ええ、楽しいです」「あなたは日本語ができるから…」「でも、自動車の専門用語を覚えるのは結構大変でした」「差別的なことある？」「それ、まったくありません。アメリカ、ドイツなどに展開しているグローバル企業ですから」と明るく話してくれました。
活動開始前、広島北の杉町孝会長が「良い天気に恵まれました。怪我のないよう各グループでの約一時間の作業ですがよろしくお願いします」と挨拶。
清掃範囲は3ロータリーにそれぞれ割り当てられ、安佐は受付地点の空鞘橋東詰から上流へ北大橋近くまでの往復でした。参加者は軍手とごみ入れのビニール袋をもって
「北」へ向かいましたが、川傍の緑地帯は雑草も刈り込まれ、あまりごみがありません。
私と学友会の現役奨学生、中国出身の羅君の二人はランニングコースにもなっている土手筋の東側の雑草地帯を“探索”、ありました、有りました！草叢から破れ傘数本にプラスチック製の箱のようなもの2点、“大物”をゲット、分別場所へ持ち帰ったのでした。
一緒に歩きながら羅君との話「来年卒業でしょ？」「はい、でももう一年居ようと思います」「コロナで学位論文が思うように書けていません、というか書くためのバックデータが全く取れていません」「指導教官とは？」「これまでは直接面談ができず、リモートでした。近々学会が下関であるのですが、これもリモートです」。
彼は日本の農産物の物流やマーケッティングについて研究しています。その取材先は農村部、どこも交通の便の悪いところ、ＪＲがあっても一日１～２往復、「それ、どうしているの？」「免許を海田の自動車学校で取って、中古の安い車を買い、それで行っています」とのこと！
横道に逸れましたが、アジアからの留学生は学ぶためには貪欲、このあたりが日本の若者と違うのかな？と思ったのです。

（三宅恭次　記）